

# 出向く営農レポート

## ～アグリスクールを卒業して～



営農部 営農指導マネージャー  
青木 崇史

令和4年度にアグリスクール中級を卒業した吉村あけみさんの圃場を訪問しました。圃場ではエンドウ、タマネギ、ニンジンなど複数の野菜が栽培されており、一つ一つ丁寧に栽培管理されています。

中でも目を引いたものがニンジンです。温度が低い冬の時期に栽培することは難易度が高く管理にも手間がかかります。トンネルのビニールの裾を少し持ち上げてみると本葉5,6枚ほどに育ったニンジンがきれいに並んでおり、こまめな管理をしていることが伺えました。

また、エンドウやたまねぎについて、これから発生しやすい病の対策としてプロポーズ顆粒水和剤\*を提案し、防除対策について話をしました。



吉村さんにインタビューしてみました!!

吉村さんには、初級(R3年度)・中級(R4年度)の2年間スクールに参加していただきました。

Q アグリスクールはどうでしたか？

A 座学・実習を通じて、土づくりや肥料のやり方など基礎を学ぶことができました。また、専業農家を訪問した現地視察研修も大変勉強になりました。現在も畠作で活かしています。

Q 中級にステップアップし、産直施設への出荷を通じて感じたことはありますか？

A 当初は少量の野菜を販売したところでそこまで売れないと思っていました。しかし、コツコツと出荷をしていくと、お客様が自分の商品をカゴに入ってくれるところを目撃したり、出荷したものが完売して収益を得た時はとても嬉しかったです。また、地産地消につながっていることを実感しました。

Q 今後の目標はありますか？

A 学校給食センター向けの野菜も栽培してみたいですが、一度にまとまった数量を作付けすることにはまだ不安があります。卒業後もスクール生同士で集まり、意見交換や情報共有を通じて切磋琢磨しながら農業に取り組んでいきたいです。

### プロポーズ顆粒水和剤



#### たまねぎ

- 希釈倍数:1000倍
- 使用液量:100~300ℓ /10a
- 使用方法:散布

今回の出向く営農活動を通じて、指導という立場でお伝えすることもあれば、生産者から学ばせていただくことがたくさんあると改めて実感しました。今後吉村さんのような卒業生含め生産者と地域の「未来づくり」に努めていきたいと再認識しました。